

平成 23 年度学校法人日本医科大学決算

去る平成 24 年 5 月 22 日(火)に開催された第 672 回定例理事会及び定例評議員会において、平成 23 年度学校法人日本医科大学の収支決算が承認・可決されました。

(財務部)

平成 23 年度は、昨年 3 月アクションプラン 21 事業の核心である新病院建設工事に入り、地下の掘削と土留め工事中心に行われ、ほぼ予定通りに進捗した 1 年となりました。その中で、予算は、帰属収支差額 14 億円の支出超過からのスタートでありましたが、4 病院の医療収入増加対策と管理経費の削減、2 大学での経常費補助金の獲得と教育研究費の有効利用等の各種改善努力が実を結び、決算は 7 億円近い収入超過となりました。

収入面では、医療収入は在院日数の短縮や患者紹介率の改善等各 4 病院での努力により、入院を中心に伸びたことが何よりも大きく影響しています。また、補助金は経常費補助金が国の制度面の変更とそれに合わせた学内での対策活動が効を奏し、大幅に伸びた事も大きな要因となっています。

支出面では、医療経費は医療収入増加に連動し増加傾向にありますが、人件費について人員数が予算を下回っていることもあり金額が下回ったこと、更に管理費及び教育研究費について削減努力と繰越制度の活用で大幅に予算を下回っていることも大きく影響しています。以上の結果、帰属収支差額は予算に比べ大幅に好転しました。

資金の状況は、3 月末に私学振興・共済事業団からの新病院建設資金の融資 15 億円を織り込み、年度末借入金残高は 484 億円となり予算より 4 億円減少しました。

以下に、決算の概要について説明いたします。

なお、掲載している各計算書の数値は、日常学内で使用している勘定科目により集計したもので、決算時に文部科学省に届け出ている学校法人会計基準に準拠したものと一部異なる部分があります。

<消費収支計算書>

収入の部

学生生徒等納付金収入

日本医科大学、日本獣医生命科学大学、看護専門学校の授業料、入学金、教育充実費等の金額で 62 億 6 千万円となり、対予算比 5 千 1 百万円の増収となりました。

医療収入

4 病院（付属病院、武蔵小杉病院、多摩永山病院、千葉北総病院）、クリニック（腎クリニック、呼吸ケアクリニック、成田国際空港クリニック）、健診医療センターを合わせ、659

億 3 千万円で対予算比 21 億 4 千万円の増収となりました。主な要因は、在院日数の短縮と患者紹介率が上昇したことが上げられます。

寄付金収入

9 億 1 千万円で対予算比 1 億 8 千万円の減収となりました。寄付金の中には平成 17 年 10 月から募集を始めた千駄木地区再開発募金による寄付金が 1 億 2 千万円含まれています。その他、主に企業等から講座、教室等に対する寄付金、日本医科大学、日本獣医生命科学大学の教育研究施設に対する寄付金等が含まれています。

補助金収入

国、地方公共団体等から、法人全体で 53 億円の補助金を受け、対予算比 4 億 4 千万円の増収となりました。

付属事業収入

付属事業収入は、日本獣医生命科学大学の動物医療センターとワクチン療法研究施設で行われている丸山ワクチンによる収入が主であり、5 億 2 千万円で対予算比 6 千万円の減収となりました。

受託事業収入

受託事業収入は、受託検査・受託指導・受託研究・治験・受託事業の収入であり、9 億 8 千万円で対予算比 2 千 5 百万円の増収となりました。

以上、帰属収入は総額で 817 億 2 千万円であり、対予算比 25 億円の増収となりました。

支 出 の 部

人件費

総額で、372 億 8 千万円、対予算比 6 千 6 百万円の減少となりました。これは、人員数に予算と実績で差があったことに因ります。

管理費

管理費は、光熱水費、業務委託費、各種機械の保守維持費、法人施設・設備の修繕費等 120 億 8 千万円で対予算比 2 億 8 千万円減少しました。

教育研究費

日本医科大学、日本獣医生命科学大学、看護専門学校の学生教育に必要な経費及び各講座・教室に予算配分される研究費が主であり、22 億円で、対予算比 5 億 3 千万円の減少と

なりました。

医療経費

医療経費は、225億5千万円で経費率34.2%となり、対予算比1.1%の上昇となりました。うち、薬品費比率は0.7%の上昇、材料費比率は0.4%の上昇となっています。

以上、消費支出は総額で810億2千万円であり、対予算比4億1千万円増加しました。結果、帰属収支差額は6億9千万円の収入超過となりました。

資金的には、借入金残高は新病院の建設資金の融資を織り込み、484億円となりました。現預金残高は19億4千万円となっています。

施設・設備支出

平成23年度の主な施設・設備の整備のための投資は次のとおりです。

(法人本部・アクションプラン21関係工事)

- ・ 弥生3号館倉庫新設工事
- ・ 病院建設工事に係る費用

(日本医科大学)

- ・ 生体内分子動態・形態総合解析システム購入

(日本獣医生命科学大学)

- ・ 合同教育棟建設に係る基本設計料

(付属病院)

- ・ C棟地下1階機械室吸収式冷凍機更新工事

(武蔵小杉病院)

- ・ 周産期・小児医療センター新設工事

(多摩永山病院)

- ・ 核医学診断装置更新

(千葉北総病院)

- ・ 電子カルテシステム導入

平成24年度は、アクションプラン21事業を粛々と進める傍ら、武蔵境地区の合同教育棟建設が始まり、更に数年先に武蔵小杉地区開発の新規事業が控えており、これらを大過なく乗り切るには安定した財務体質の確立が必要不可欠であります。まずは、平成24年度の目標収支10億円の収入超過に向けて、PDCAサイクルを動かし、定期的な再検討を習慣化させ経営状態を常に把握し、必要な対策を即座に実施する体制づくりを法人一丸となって進めていく予定です。

1. 資金収支

資金収支計算書
(自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日

(単位):百万円

資金収入の部				資金支出の部			
科 目	H23予算 ①	H23実績 ②	対予算 ①-②	科 目	H23予算 ①	H23実績 ②	対予算 ①-②
学生生徒等納付金収入	6,211	6,262	△ 51	人件費支出	37,316	37,125	190
手数料収入	220	239	△ 18	管理費支出	12,377	12,025	352
寄付金収入	1,067	879	188	職員募集対策費支出	27	17	10
補助金収入	4,865	5,307	△ 443	福利厚生費支出	607	627	△ 20
資産運用収入	639	582	57	学事費支出	121	130	△ 9
資産売却収入	0	0	0	教育研究費支出	2,736	2,202	533
補助活動収入	52	51	1	医療経費支出	21,116	22,531	△ 1,415
付属事業収入	586	525	61	付属事業支出	439	430	9
受託事業収入	955	980	△ 25	借入金等利息支出	928	867	61
医療収入	63,786	65,935	△ 2,149	施設関係支出	2,707	2,312	395
雑収入	803	923	△ 120	設備関係支出	5,165	4,051	1,114
その他の収入	255	△ 823	1,078	資産運用支出	207	200	7
				その他の支出	△ 3,447	△ 72	△ 3,376
				予備費	500	0	500
経常収入	79,440	80,861	△ 1,422	経常支出	80,798	82,446	△ 1,649
				経常収支	△ 1,358	△ 1,585	227
借入金等収入	13,900	13,050	850	借入金等返済支出	13,890	13,449	441
				借入金収支	10	△ 399	409
				財務収支	10	△ 399	409
				総合収支	△ 1,348	△ 1,984	636
				借入金残高	48,831	48,422	409
				現預金残高	2,582	1,946	636

(注)・科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。
・学内管理用の科目を使用しております。

2. 消費収支

消費収支計算書
(自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日

(単位):百万円

消費収入の部				消費支出の部			
科目	H23予算 ①	H23実績 ②	対予算 ①-②	科目	H23予算 ①	H23実績 ②	対予算 ①-②
学生生徒等納付金	6,211	6,262	△ 51	人件費	37,346	37,280	66
手数料	220	239	△ 18	管理費	12,377	12,088	289
寄付金	1,100	917	182	職員募集対策費	27	17	10
補助金	4,865	5,307	△ 443	福利厚生費	607	627	△ 20
資産運用収入	639	582	57	学事費	121	130	△ 9
資産売却差額	0	0	0	教育研究費	2,736	2,202	533
補助活動収入	52	51	1	医療経費	21,116	22,553	△ 1,437
付属事業収入	586	525	61	付属事業支出	439	430	9
受託事業収入	955	980	△ 25	借入金利息	928	867	61
医療収入	63,786	65,935	△ 2,149	減価償却費	4,463	4,508	△ 44
雑収入	803	924	△ 121	資産処分差額	113	243	△ 130
				徴収不能引当金繰入額	140	82	58
				予備費	200	0	200
帰属収入計	79,217	81,723	△ 2,506	消費支出計	80,613	81,026	△ 413
基本金組入額	△ 5,041	△ 4,679	△ 362	消費収支差額	△ 6,437	△ 3,982	△ 2,455
消費収入合計	74,176	77,044	△ 2,868	帰属収支差額(組入前)	△ 1,396	697	△ 2,093

(注)・科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。
・学内管理用の科目を使用しております。

3. 貸借対照表

貸借対照表
平成24年3月31日現在

(単位):百万円

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	H23実績 ①	H22実績 ②	対前年 ①-②	科 目	H23実績 ①	H22実績 ②	対前年 ①-②
固定資産	101,980	100,156	1,825	固定負債	53,902	55,107	△ 1,204
有形固定資産	100,365	98,768	1,597	長期借入金	35,944	37,760	△ 1,816
土地	21,990	21,694	296	長期未払金	1,833	1,377	456
建物	49,218	50,748	△ 1,530	退職給与引当金	16,125	15,970	155
構築物	1,461	1,544	△ 83	流動負債	24,649	23,404	1,246
教育研究用機器備品	11,292	10,019	1,272	短期借入金	12,478	11,061	1,417
その他の機器備品	214	183	31	短期未払金	9,920	10,147	△ 227
図書	4,285	4,224	61	前受金	1,426	1,450	△ 24
車輛	97	106	△ 9	預り金	762	679	83
建設仮勘定	11,808	10,249	1,559	患者預り金	59	66	△ 7
その他の固定資産	1,615	1,388	228	仮受金	5	2	3
その他のソフトウェア	14	19	△ 5	負債合計	78,552	78,510	41
電話加入権	36	36	0				
施設利用権	1	1	△ 0				
長期有価証券	356	356	0	基本金の部			
敷金・保証金	137	137	△ 0	基本金	149,878	145,216	4,663
長期貸付金	555	522	33	第1号基本金	143,542	139,079	4,463
第2号基本金引当資産	300	100	200	第2号基本金	300	100	200
第3号基本金引当資産	58	58	0	第3号基本金	58	58	0
借地権	159	159	0	第4号基本金	5,979	5,979	0
流動資産	15,423	16,509	△ 1,087	消費収支差額の部			
現金	175	139	35	消費収支差額	△ 111,027	△ 107,061	△ 3,966
預金	1,772	3,791	△ 2,019	当年度消費支出超過額	△ 3,982	△ 1,590	△ 2,393
未収入金	12,983	12,070	913	前年度繰越消費支出超過額	△ 107,061	△ 106,654	△ 407
貯蔵品	256	277	△ 21	基本金取崩額	16	1,182	△ 1,166
短期貸付金	83	79	4				
前払金	154	153	1				
仮払金	0	0	0				
合 計	117,403	116,665	738	合 計	117,403	116,665	738

(注)・科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。